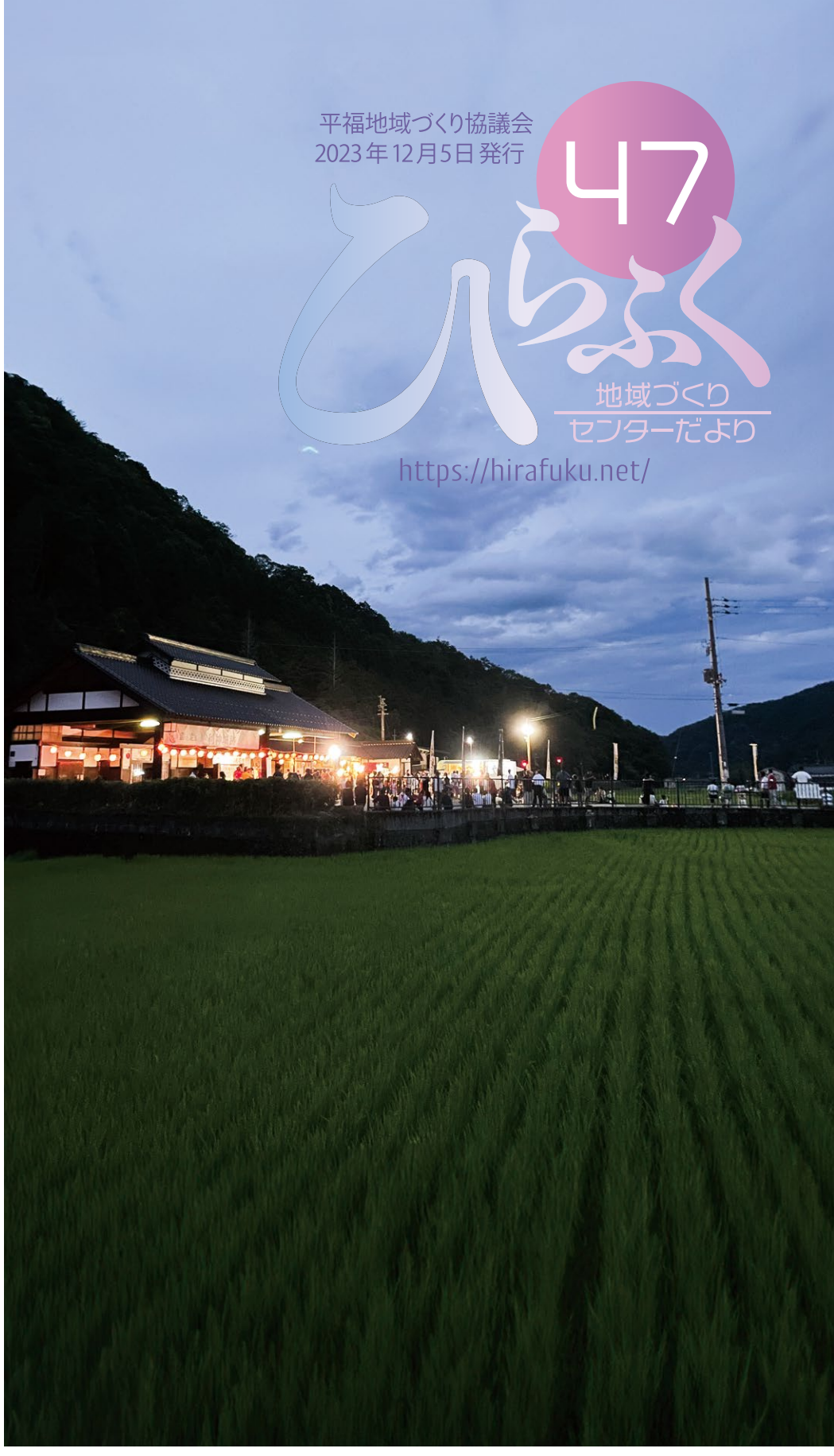
平福地域づくり協議会
2023年12月5日 発行
47
ひらふく
地域づくりセンターだより
https://hirafuku.net/



5年ぶりの平福納涼花火大会

写真・文 松田航

8月5日（土）平福納涼花火大会に向けての打ち合わせ会議が開催され、消防団分団長として参加をしました。会議の場で花火打ち上げ場所周囲の田畑の所有者への配慮など、今まで消防団員として関わって来た事以上の裏側を知ることができ、今まで一手に引き受けてきてくれていた商工会に感謝をすると共に、今後継続していくことの大変さを感じることができました。

納涼花火大会当日、数日前から訳分からん進路で心配された台風も何とか大丈夫そうで、花火打ち上げ準備にかかりました。花火の打ち上げ地点に向かう時、会場である平福駅前はすでに設営は終了し、郷土を考える会やキッチンカーの出店の準備が着々と進んでいる所や、少し気の早いお客さんもちらほら見る事ができ、こちらの気分も上がってきたのを感じました。花火前の放水では、花を咲かせつつある稲に水をかけないよう慎重に、でも広範囲に水を撒くための高水圧に耐えるよう、2人がかりで筒先を操作。放水終了後、会場に目をやると会場の人が増え、楽しんでくれてるのが見えて、ちょっと羨ましくもあり、うれしくもなりました。花火打ち上げ10分前、配置位置に移動。ちょっと前まで明るかったのに一気に暗くなり花火モードに。花火を真下で見る特権は、今回初めて参加してくれた新人に譲り、上空監視の場所へ。写真を撮るならこっちの方が良さそうという事に気づき、少し嬉しい気分に。会場の方に目をやると橋の欄干に人がびっしりで、楽しみにしてくれてる人がこんなにいるんだからやって良かった！ と思っていると、智頭線の出発を合図に打ち上げ開始。お客さんと一緒に花火を楽しみました。

花火の終了を受け、打ち上げ後の放水を行いました。花火の燃えかすなどが落ちてきて、これからの作業の大変さにも思いを馳せながら、せめて指示された通り稲に水をかけないよう、暗くて見えにくい中注意しながら水を撒き、消防団としての役割を終えました。

今回も火災無く無事終えることができましたが、この納涼花火大会を開催してくれた皆様、会場設営や運営に協力して下さった皆様、花火警備に参加してくれた団員の皆さん、ご苦労さまでした。あの場所を快く使わせて下さる田んぼの持ち主の方もありがとうございました。そして何より会場に足を運んで楽しんで下さった皆さんに感謝です。今までこの場所で花火を打ち上げ続けてきたからこそ今も開催できているとのこと、一度止めたらあの場所での花火はもうできなくなると聞きました。どんどん過疎が進む中、消防団員の人数確保も大変にはなってきてますが、来年以降も続けられるよう協力していけたらと思います。そのためにも若い世代の方、消防団への入団よろしくお願いします！（笑）

延吉盆踊り大会

文　友本一宏

8月6日（日）開催の延吉盆踊り大会は、2週間前から倶楽部で音頭取りや太鼓・踊りの練習などをして本番を迎えます。

そして本番当日、昼間に会場設営や出店の準備などを集落総出で行いますが、厳しい暑さの中で熱中症に注意しながらの作業はなかなか大変でした。午後7時頃、太鼓の音が鳴り出すと櫓のまわりに踊りの輪ができます。地元集落はもとより近隣の集落の方などたくさんの参加があり、賑やかな大会となりました。終盤には踊りの輪が二重になるなど大いに盛り上がりました。会場内では、アイスクリーム、スーパーボールすくい、ビール・ジュースなどの出店もあり、みなさんには和気あいあいとした雰囲気で楽しんでいただけたと思います。最後はみんなで片付けをして終了です。

コロナ禍を経て、4年ぶりの開催でしたが、最後まで天候に恵まれ、久しぶりにみんなで楽しむ事ができたいい大会になったと思います。

楽天イーグルス小深田大翔選手応援ツアー

写真・文　平田琢也

東北楽天ゴールデンイーグルスで活躍中の小深田大翔選手を応援するツアーが、郷土を考える会主催で9月16日（土）に行われました。対戦相手はオリックスブルーウェーブで、楽天もクライマックスシリーズ進出がかかる負けられない試合でした。小深田選手にとっても盗塁王の初タイトルがかかる状況で、応援にも力が入るカードとなりました。

試合会場の大阪京セラドームを目指し、郷土を考える会の会員ら約40名の小深田大翔応援団が出発しました。バスの中では熱心に応援練習を行なうなど、みんなの想いがひとつになるのを実感しました。そして昼過ぎにドームに到着し、3塁側内野席に陣取った我々の目の前では楽天の練習が行われていました。サードの守備練習をする小深田選手を見た時には私たちの期待が高まっていくのが感じられました。

いよいよ試合開始！ 1番サードで先発出場の小深田選手は試合開始早々に登場、応援の効果もあってか3安打猛打賞の大活躍でした。中でも、5回にオリックスのエース山本投手から3塁打を放った場面は最高に盛り上がりました。試合も3対1で楽天の快勝となりました。試合の途中、バックボードに大きく映し出された小深田選手の姿にとても心が熱くなり、小深田選手の活躍に一喜一憂し、参加者は皆大興奮で観戦できました。

小深田選手をはじめ、このような素晴らしい機会を準備してくださった「郷土を考える会」役員の方々には大変感謝をいたします。ありがとうございました。

素盞嗚神社 秋季例大祭

文　田邊賢太郎

今年はコロナ後、久々の秋祭りでした。そんななか、私は獅子舞を初めて演じました。

小学生の頃にまりとりの子役としては何度か参加していましたが、大人となり獅子舞の獅子方としては初の参加でした。最初の集まりでは10人ほど集まって本当に獅子舞を行えるのかの話し合いでした。私は笛を吹くのも初めて、獅子舞を演じるのも初めてでしたので、迷惑にならないか心配でしたが参加する決心をしました。初日の練習では笛が全く鳴らず、それ以降は毎日のように家でも練習をしました。音が鳴り出したのは最初の練習から1週間が過ぎた頃でした。やっと、少しは迷惑にならないと感じ始めたのも束の間、次は獅子舞の練習が始まりました。私はぼたんを担当することに。最初は練習用の頭だけで練習をしました。ある程度自分で納得出来るようになったので、いざ2人での練習をしたところ、全然感覚が違い上手く出来ませんでした。

本宮の1週間前の大ならしには、何度も何度も練習をして挑みましたが、ミスをしてしまいました。そこから本宮までさらに何度も練習をして、いざ本番に挑みました。失敗こそしませんでしたが、紙吹雪を上手に吹くことが出来ませんでした。この紙吹雪を綺麗に出来たら良しと言われていましたが上手に出来ませんでした。この点は次回以降への反省点だと思っています。

初めて獅子舞を演じて感じたのは、楽しかった・面白かったという感情です。笛の音を出すのも難しかったですし、獅子舞の動き方も難しかったです。ただ、それでも私は楽しく感じているので、次回以降もできる限り参加したいと思います。

佐用山城ガイド協会が「お城EXPO in 姫路」に出展

写真・文　鈴木哲矢

去る9月16～18日。姫路城世界遺産登録30周年を記念して、「お城EXPO」がアクリエひめじで開催されました。全国の城にまつわる「エンタメ」と「ご当地食とキャラクター」、「歴史・文化」が饗宴。戦国一色の三日間が13,080人の来場者で賑わいました。

会場の至るところを鎧武者が闊歩し、忍者軍が暗躍。その姿を収めんと列をなす来場者との撮影会が降るほどに。屋外ステージは刻々と、ご当地キャラや武将隊、絵師によるパフォーマンスが観衆と渾然一体を成していました。そして別会場では、名高い武将の「大甲冑展」。そしてアニメ刀剣乱舞の「オーケストラ」や「限定グッズ」も長蛇の列。

そんな中で、さて我々といえば、「刺繍家紋バッジ」を携え盛況のうちに終えました。

利神城のチラシを手に獲る、勢いこんで意気揚々と語る方たちに「知る人ぞ知る、利神城と宿場町平福」を教わりました。「かならず訪れる」と約束をして別れた方との再会を、私はこの町で待ちたいと思います。

吾勝速日神社 秋季大祭

写真・文　平田琢也

庵の吾勝速日神社の秋季大祭が10月8日（日）に開催されました。新型コロナウイルス禍で中断していた神輿の巡行を4年ぶりに再開するということで、地域では朝から少し慌ただしい雰囲気が漂っていました。今年は担ぎ手不足などから神輿を軽トラックに載せて地域内を回ることにしました。祭りらしい雰囲気は少し薄れますが、関係者の負担がかなり軽減されました。この方法なら更に人手が不足しても実施できると思います。

上庵、下庵に設けられた各御旅所で厳かに神事が執り行われました。神輿を囲んで地域の住民が集まることで一体感を感じられる行事となりました。これからも社会の変化に対応しながら続けていくべき伝統だと感じました。

またこの大祭が終わった後すぐに本殿は大規模修理を行うことになりました。創建されてから約100年が経過し、さまざまな箇所で劣化が進んだからです。数ヶ月後には修理も完了し、美しい姿を取り戻すことになります。

お知らせ

前号でお知らせした「平福地域づくり協議会の今を知ろう会」。今は「平福知ろう会」と称して、ここまで4回開催してきました。協議会が取り組むべき地域の課題とは何か、また協議会の組織としての問題点は何か、など、毎回活発に議論されています。次回、第5回平福知ろう会は下記の通り開催しますので、皆さま是非ともご参加ください。

第5回 平福知ろう会
日時：2024年1月21日（日）19:00～
場所：県民交流広場

平福川端土蔵群冬のライトアップイベントを下記の通り開催します。薄暮の中で光り輝くシンメトリーな川端土蔵群を、どうぞお楽しみください。

川端土蔵群ライトアップ
日時：2023年12月16日（土）17:00頃～
場所：平福南新町 川端土蔵群

#平福フォトコン2023

平福は「べっぴんの町」になる。

@SAYOYAMAJIROGAIDOKYOKAI

応募方法：① sayoyamajirogaidokyokai をフォロー。
② #平福フォトコン2023をつけて写真を投稿。

募集期間：令和5年4月1日～令和6年1月20日

賞：
最優秀賞　1名　賞金 10,000円
優秀賞　2名　賞金 5,000円
佳作　4名　賞金 3,000円
スポンサー賞ほか 20名　利神城グッズ・利神城記念切手など

撮影対象：平福・江川地域の風景
応募資格：プロ・アマ問わず誰でも応募できます。
審査：主催者が指名する審査員が審査を行います。
審査結果：2月上旬に受賞者にInstagramのDMで直接通知します。
使用権：入賞・入選作品の使用権は佐用山城ガイド協会に帰属します。
作品は協会が使用する他、活動に係る団体個人に提供します。
注意事項：☑作品は応募者本人が撮影したものに限ります。
☑応募作品に人物が写っている場合は必ず本人の承諾を得てください。
☑肖像権侵害等の責任は負いかねます。
主催：佐用山城ガイド協会
後援：佐用町・佐用町観光協会・平福地域づくり協議会・神戸新聞社・智頭急行
お問合せ：上杉剛 ☎090-6069-1435、春名政男 ☎090-5246-6469
E-mail：sayoyamajiro@gmail.com

募集